

業務状況

区分 単位	行政区内 人口(A)	処理区域内		処理 人口(C)	処理 件数	普及率 (B)/(A)	水洗化率		年間 総有収水量	年間 総処理水量
		面積	人口(B)				(C)/(A)	(C)/(B)		
年度	人	ha	人	人	件	%	%	%	m ³	m ³
H29	596,319	7,032	472,600	463,700	250,559	79.3	77.8	98.1	55,616,359	61,153,499
H30	594,943	7,049	471,800	463,600	252,583	79.3	77.9	98.3	55,018,761	60,276,180
R元	593,474	7,061	471,100	463,000	254,819	79.4	78.0	98.3	54,358,376	60,128,354
R2	592,995	7,087	471,600	463,300	256,933	79.5	78.1	98.2	54,369,674	61,293,763
R3	589,963	7,105	469,000	461,400	258,939	79.5	78.2	98.4	53,917,001	60,479,876

下水道使用料 (1か月)

用途	汚水種別	基本料金	従量料金			
			排除	汚水量	金額(税抜)	
一般用	第1種	390円	10m ³ までの分	1m ³ について	41円	
			10m ³ を超え	30m ³ までの分	//	
			30m ³ を超え	50m ³ までの分	//	
	第2種		50m ³ を超え	100m ³ までの分	//	134円
			100m ³ を超え	200m ³ までの分	//	175円
			200m ³ を超え	500m ³ までの分	//	192円
公衆浴場用	第1種	390円	1m ³ について		8円	
	第2種	490円				

※下水道使用料は、基本料金と従量料金の合計額に消費税(令和4年4月現在、合計額の10%)を加えた額(1円未満の端数は切り捨て)
 ※引越等で、月の途中から下水道の使用を開始または中止したときは、使用日数に応じて、基本料金を日割計算する。

備考 1. 「第1種」とは、専ら水道の水を使用し、又は水道の水と井戸等水道以外の水を併用して排除するものをいう。
 2. 「第2種」とは、専ら井戸等水道以外の水を使用して排除するものをいう。

水洗便所改造資金融資あっせん制度・助成金制度

融資あっせん制度	既存設備	限度額	利率	内容
	浄化槽便所 くみ取り便所	※30万円		無利子
1.50%				処理開始日から1年を超え3年以内に公共下水道に接続する場合
2.10%				処理開始日後3年を経過してから公共下水道に接続する場合
無利子				処理開始日から3年以内に公共下水道に接続する場合
			2.10%	処理開始日後3年を経過してから公共下水道に接続する場合

※2か所以上の便所がある場合には、便所が1か所増えるごとに15万円を加算した額以内(いずれも工事に要した費用の範囲内で、1万円単位とします。)

助成金制度	既存設備	助成金額	内容
	浄化槽便所	浄化槽1基につき1万7千円	処理開始日から1年以内に公共下水道に接続する場合
	くみ取り便所	便槽1槽につき1万7千円	処理開始日から3年以内に公共下水道に接続する場合

※融資あっせん制度と助成金制度との併用はできません。

サツマソイル

下水処理場から発生する脱水汚泥を、約40日かけて好気性微生物により発酵させた有機質肥料です。脱水汚泥が発酵する過程で、その温度が70℃～80℃に上昇することにより雑草の種子や病原菌等は死滅し、安定した肥料になります。このように生産されたサツマソイルは、有機質肥料として緑農地に安心して使用できます。また、肥料の効果はもちろん、石灰を含むため酸性土壌の改良にも効果があります。

《価格》		《含有成分》	
	金額(税込)	窒素	3.5%
15kg袋入	165円	リン酸	3.9%
20kg袋入	220円	カリ	0.5%未満
		石灰	6.9%



令和4年6月現在



低宅地汚水ポンプ施設設置補助金制度

交付対象者	補助金の額	交付対象経費
公共下水道の処理区域内にある低宅地の既存家で汚水ポンプ施設を設置しようとする者	<補助の割合> 交付対象経費の5分の4相当額 <1件あたりの限度額> 55万円	汚水ポンプ施設の設置工事費

(令和4年度)

受益者負担金・区域外流入分担金制度

	受益者負担金	区域外流入分担金
対象者	事業計画区域で賦課公告を行った区域内の土地の所有者又は権利者	事業計画の区域外において、下水道法の規定による区域外流入の許可を受けた土地の所有者又は権利者
単価	1平方メートル当たり131円	
納付方法	5年(年4回)の分割払い又は一括払い	一括払い

(令和4年度)

個人住宅雨水貯留施設等の設置助成制度

	貯留施設	助成金額	内容
助成金制度	貯留タイプ	設置に要する費用のうち、市が認めた金額の1/2を助成。 限度額 38,000円	個人住宅の屋根に降った雨水を一時的に貯留する施設です。散水等の雑用水に活用できるほか、非常時の備えにもなります。
	浸透タイプ	設置に要する費用のうち、市が認めた金額の1/2を助成。 限度額 22,000円	個人住宅の屋根に降った雨水を人工的に地下へ浸透させる施設です。地下水のかん養にも寄与します。

(令和4年度)

かごしま市の公共下水道



公共下水道事業は、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与するとともに、海や川などの公共用水域の水質の保全に役立っています。

鹿児島市の公共下水道のあらまし

鹿児島市は、桜島や錦江湾に代表される豊かな自然、個性あふれる歴史・文化など素晴らしい特性を有し、市民の生活を支え、来街者を楽しませる多様な都市機能が集積する南九州の中核都市として着実に発展を続けており、目指す都市像として「つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま」を掲げております。本市の公共下水道は、昭和27年に分流式として事業に着手して以来、処理区域の拡大に努めており、令和4年3月31日現在、行政区内人口に対する普及率は、79.5%となっています。

また、50年先の将来を見据えた持続可能な事業運営のために令和3年度に策定した上下水道ビジョンを踏まえ、中長期的な更新需要を見据えた改築計画に基づいた計画的な更新や長寿命化、災害に備えるための施設の耐震化・耐水化及び浸水対策などに取り組んでいます。

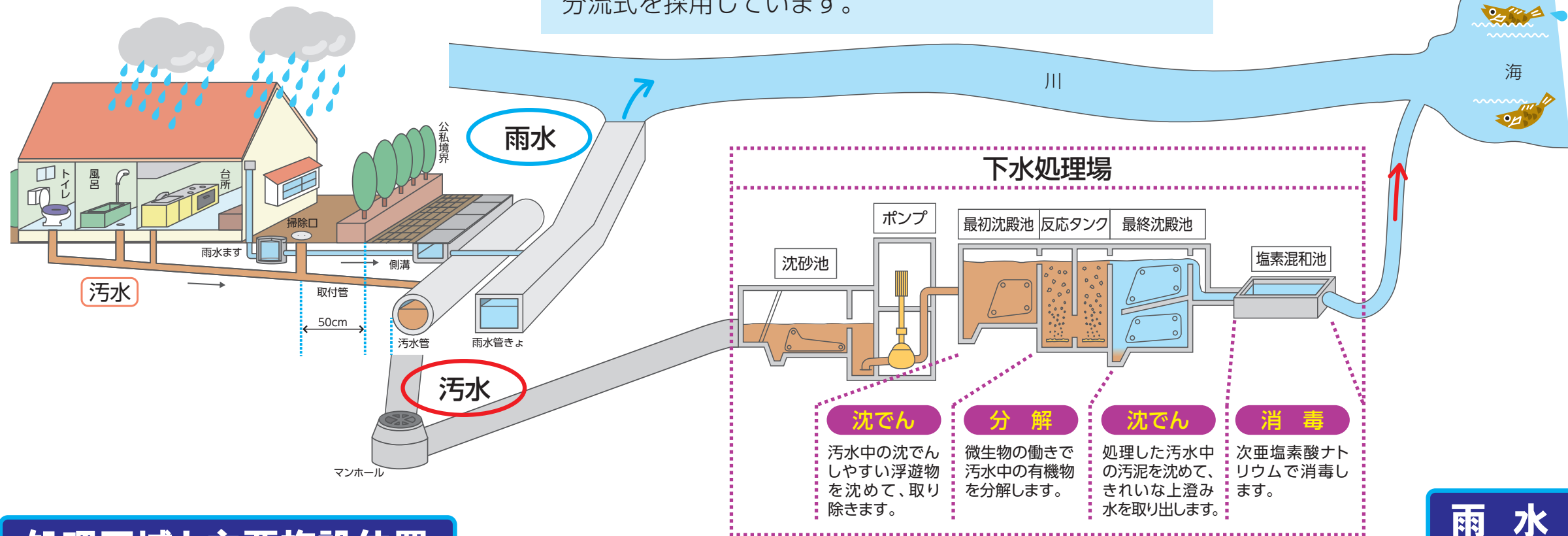


〒890-8585 鹿児島市鴨池新町1番10号 TEL099-257-7111
 ホームページアドレス <http://www.city.kagoshima.lg.jp/suidou/index.html>



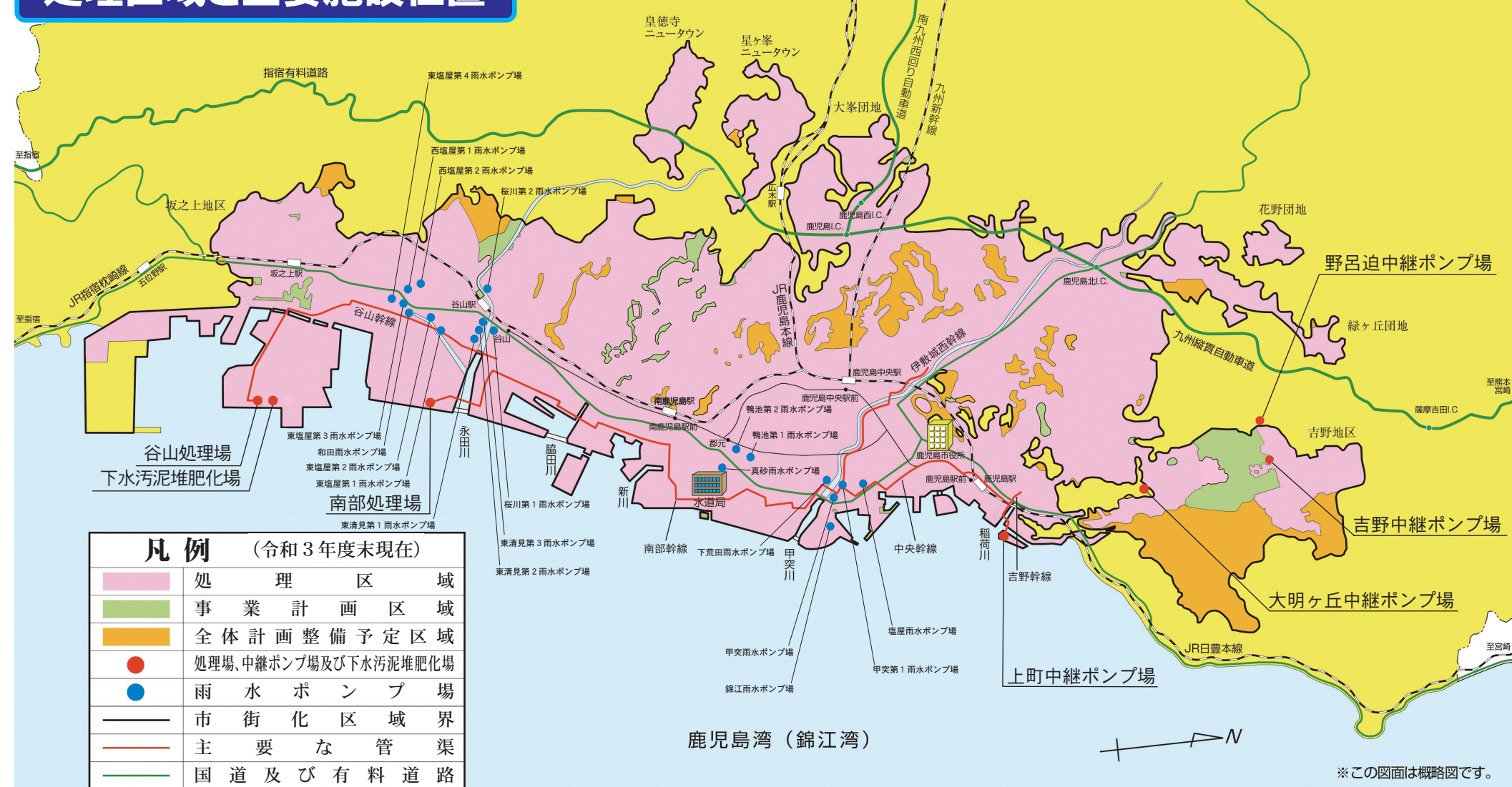
公共下水道のしくみ(分流式)

本市の下水の排除方法は、雨水と汚水を別々に排除する分流式を採用しています。



- 沈でん** 汚水中の沈でんしやすい浮遊物を沈めて、取り除きます。
- 分解** 微生物の働きで汚水中の有機物を分解します。
- 沈でん** 処理した汚水中の汚泥を沈めて、きれいな上澄み水を取り出します。
- 消毒** 次亜塩素酸ナトリウムで消毒します。

処理区域と主要施設位置



※この図面は概略図です。

事業計画 (第12次変更計画一部変更)

策定年月	令和元年12月
目標年月	令和7年 3月
処理人口	472,000人
処理区域面積	7,467ha
排除方法	分流式
一日最大汚水量	214,200m ³
一日平均汚水量	176,300m ³
1人一日最大汚水量	454ℓ

雨水施設

雨水管きょは、大雨による浸水から街を守るため、道路や住宅地に降った雨水を集めて川や海に放流しています。また、市内20箇所には、川の増水等により流れなくなった雨水を速やかに放流するため雨水ポンプ場が整備されています。

雨水管きょ
水路数：530水路 延長：約265km
雨水ポンプ場：甲突第1ほか19ポンプ場



【雨水管きょ】
鉄筋コンクリート製で、縦横の長さが1m程度から3mを超えるものまであり、道路の下などに埋設されています。



【雨水管きょの布設工事】
浸水被害の軽減を図るための布設替えや老朽化した既設管きょの長寿命化対策を進めています。

汚水管路施設

生活・工場排水などの汚水は、地下に埋められている汚水管に集められます。汚水管には勾配がつけられ、自然流下で流れるようになっています。

延長：約2,202km



【南部幹線の汚水管】
鉄筋コンクリート製で、地下約10mの深さに埋設されています。内径2.4mで、本市最大の汚水管です。



【汚水管の布設工事】
衛生的で快適な生活環境を確保するため、事業計画区域(緑色の区域)において、汚水管の整備を進めるとともに、既設管の老朽化対策に取り組んでいます。

南部処理場

南部処理場では、市内中心部を流れる甲突川・新川流域と吉野地区などの汚水を処理して永田川へ放流しています。1日で25mプール*544杯の汚水を処理する能力があります。

所在地：南栄二丁目13番地 処理開始：昭和54年7月2日
処理能力：149,600m³/日 処理方法：標準活性汚泥法



谷山処理場

谷山処理場では、谷山市街地や、星ヶ峯団地などの汚水を処理して鹿児島湾に放流しています。1日で25mプール*約193杯の汚水を処理する能力があります。

所在地：谷山港三丁目2番地5 処理開始：平成12年5月1日
処理能力：53,200m³/日 処理方法：標準活性汚泥法



※25mプールは横11m、深さ1.0mで計算

下水汚泥堆肥化場

下水汚泥堆肥化場は、各処理場から発生する脱水汚泥を発酵させて堆肥化し、「サツマソイル」として販売しています。

所在地：谷山港三丁目2番地4 運転開始：昭和56年4月24日
処理能力：110トン/日 処理方法：無添加コンポスト方式



<発酵する脱水汚泥>